

令和5年8月7日 利根川水系渇水対策連絡協議会 (事務局:関東地方整備局)

# 令和 5 年度 利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会 の臨時開催の結果について

~ダムの貯水量の減少が続いています~

8月7日に開催した令和5年度 利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会の臨時開催の結果をお知らせいたします。

#### 1. 開催状況

日時:令和5年8月7日(月) 10:00~11:00

場所等:Web 会議

協議会構成:国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、

農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県

群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的:利根川上流ダム群等の現状把握と今後の対応について協議をするため

## 2. 開催結果

別紙のとおり

<発表記者クラブ> 埼玉県政記者クラブ 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 東京都庁記者クラブ 千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 水資源記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部

電話: 0 4 8 - 6 0 1 - 3 1 5 1 (代表) FAX: 0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 7 9

河川環境課 課長 斎藤 充則(内線:3651)

建設専門官 高橋 臣夫(内線:3652)

水政課 水政調整官 土田 純 (内線:3515)

課長 藤田 美香(内線:3551)

課長補佐 中山 浩 (内線:3557)

# 現状と今後の対応

#### (1) 現状

- ・令和5年の利根川流域では、6月初旬に接近した台風2号の影響による降雨で、利根川上流9ダム、鬼怒川上流4ダムとも洪水期の開始(利根川上流9ダムは7月1日~、鬼怒川上流4ダムは6月15日~)を貯水率100%で迎えました。
- ・利根川の上流域(埼玉県栗橋町上流域)の降水量は、6月は過去の平均値(昭和23年~令和4年の45年間)176mmに対して約1.5倍の270mmでしたが、7月は一転して過去平均203mmの半分に満たない90mmとなりました。
- ・ダムにおいては、下流の水利用等のために必要な水量を放流した結果、8月7日0時現在の利根川上流9ダムの貯水量は2億3,160万㎡、貯水率63%で、平成4年以降の同日貯水量の平均に対して78%です。

また、鬼怒川上流4ダムの貯水量は1億1,643万㎡、貯水率68%で、平成25年以降の同日 貯水量の平均に対して88%となっています。

## (2)今後の見通し

- ・8月3日に気象庁より発表された向こう1ヶ月の見通しでは、降水量は平年よりも「多い」確率が40%となっているものの、気温については「高い」確率が60%となっており、特に、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があるとの予報になっています。
- ・利根川流域では、農業用水や都市用水の利用の多い時期が続くため、7月と同様に河川の 流量が減少した場合、ダムから補給する必要が生じ、ダムの貯水量の減少が加速することが 予想されます。

#### (3)今後の対応

- ・利根川上流9ダムでは、少雨の影響を受け、現在の貯水量は過去に渇水が発生した年と同様の厳しい状況であることを確認しました。今後も、限りある水資源の有効利用のため、上流ダムと下流施設を連携したきめ細やかな運用を行っていきます。
- ・今後、利根川及び鬼怒川ダム群の貯水量が増加するような降雨が無い場合には、早ければ来週に利根川水系渇水対策連絡協議会を開催し、10%の取水制限の実施について協議することを確認しました。

(協議会の開催日時、場所については、事務局よりあらためて公表します)

・利根川に係る水の利用者に対して、節水への取り組みを促すために幅広い広報活動を実施 することとします。

令和5年度 利根川水系渇水対策 連絡協議会 幹事会 (臨時)

# 利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダムの貯水状況(令和5年8月2日撮影)

令和5年8月7日

関東地方整備局

## 1. 利根川上流9ダム等の現状

0

1月

2月

3月

4月

## (1) 利根川

1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況(令和5年8月7日0時までの降水量)

栗橋地点(埼玉県久喜市栗橋地先)上流域における7月の降水量は、平均値203mm(昭和23年~令和4年の75年間の平均)の半分に満たない90mmでした。これは、直近の渇水(平成28年)における同月の降水量134mmと比較しても少ない状況となっています。(図-1、表-1参照)

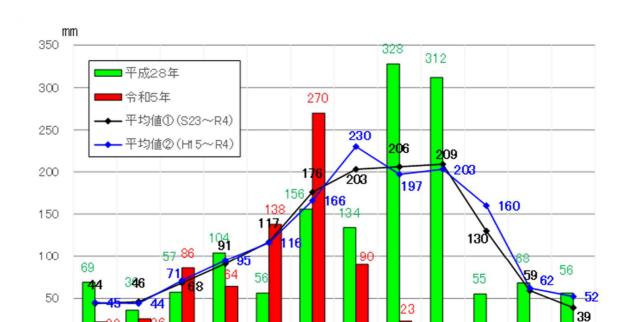


図-1 利根川栗橋地点上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで)

6月

5月

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1, 143
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1, 222
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1, 569
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1, 395
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1, 294
平成28年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1, 431
令和2年	76	25	99	134	104	211	278	81	163	146	10	29	1, 356
令和3年	34	45	102	78	95	181	256	271	151	77	59	70	1, 419
令和 4 年	28	47	58	127	142	134	282	118	217	65	70	36	1, 324
平均値① (S23~R4)	44	46	68	91	117	176	203	206	209	130	59	39	1, 388
平均値② (H15~R4)	45	44	71	95	116	166	230	197	203	160	62	52	1, 441
令和 5 年	22	26	86	64	138	270	90	23					719
平均値①に 対する割合	50%	57%	126%	70%	118%	153%	44%	11%					52%

7月

8月

9月

10月 11月 12月

表-1 利根川栗橋上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで) 単位: mm

注)平均値①はデータが存在する期間 (75 ヶ年) を平均したもの 平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近 20 ヶ年を平均したもの 黄色塗りは取水制限実施月 (一時緩和含む)

## 2) 利根川上流9ダムの貯水状況等(令和5年8月7日0時現在)

利根川上流9ダムでは、7月より河川流量の著しい低減に伴いダムからの補給量が増加し、8月7日現在の合計貯水量は、2億3,160万m3(貯水率63%)です。過去の渇水時における同日の貯水量と比較すると、30%の取水制限が実施された平成8年夏と同程度の貯水量となっています。 (図-2、表-2参照)

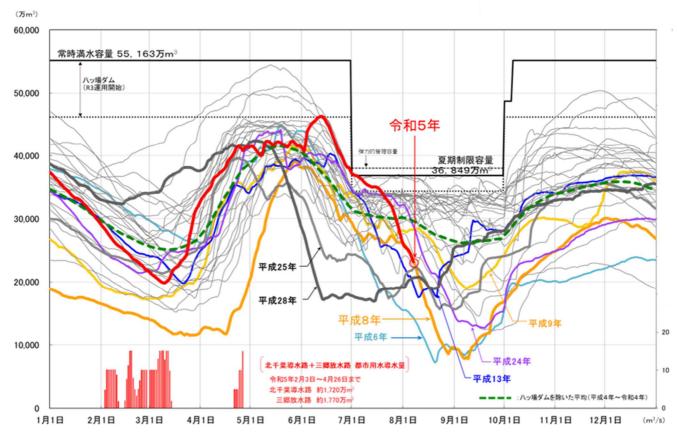


図-2 利根川上流9ダム合計貯水量図(令和5年8月7日0時現在)

ダム名	有 効 容 量 (万㎡)	貯 水 量 (万㎡)	貯 水 率 (%)	前 日 補 給 量 (万㎡/日)
矢木沢ダム	11, 550	4, 957	43%	+332
奈良俣ダム	7, 439	5, 192	70%	+145
藤原ダム	1, 230	1, 299	100%	+23
相俣ダム	1, 060	835	79%	-12
薗原ダム	300	136	45%	+23
ハッ場ダム	2, 500	1, 770	71%	-14
下久保ダム	8, 500	6, 677	79%	+75
草木ダム	3, 050	1, 848	61%	+53
渡良瀬貯水池	1, 220	446	37%	+134
9ダム合計	36, 849	23, 160	63%	+759
AND THE MENT SHOWS AND THE SECOND SHOWS	↑の平均値 ∼令和4年)	29, 643	(平均値に対す	ち割合78%)

表-2 利根川上流9ダム ダム別貯水量(令和5年8月7日0時現在)

※有効容量は、夏期制限容量(洪水期の利水容量)であり、貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合 ※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。) ※過去の貯水量平均値は、八ッ場ダム貯水量を含めず8ダムの合計貯水量で計算したもの

# 3) 利根川本川における利根川上流9ダムの補給状況

利根川流域では、7月以降雨が少ない日が続き、特に7月下旬から利根川上流9ダムからの補給も日々増量し7月30日には、今夏最大の日量983万㎡をダムから補給しています。この時の利根川の流量(栗橋地点流量+利根大堰での取水量)は、約5割がダムからの補給によるものでした。 (図-3参照)

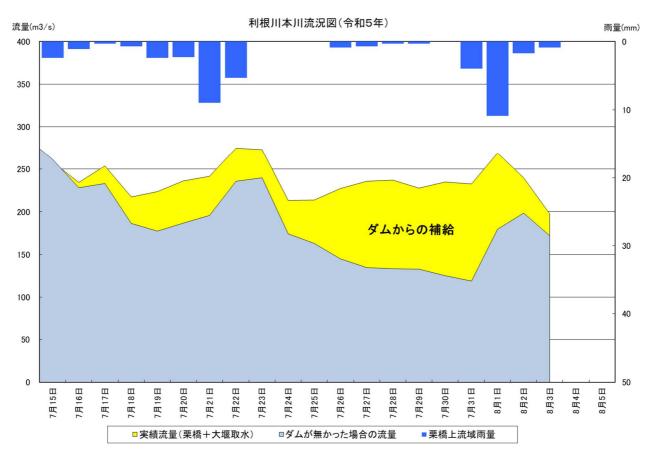


図-3 利根川本川の流量とダムからの補給状況(令和5年7月~8月)

## 4) 北千葉導水路、三郷放水路の運用状況

利根川上流9ダムの貯水量が減少し、貯水率がおおむね70%となった8月4日14:00より 北千葉導水路、三郷放水路による江戸川への導水を開始し、現在は、上流ダムと下流施設が 連携してきめ細やかな水運用を実施しています。

## (2)鬼怒川

1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況(令和5年8月7日0時までの降水量)

佐貫地点(栃木県塩谷町佐貫地先)上流域における7月の降水量は、平均値228mm(昭和47年~令和4年の51年間の平均)の半分に満たない87 mmでした。鬼怒川において20%の取水制限が実施された平成28年の同月の降水量94mmと比較しても少ない状況となっています。

(図-4、表-3参照)

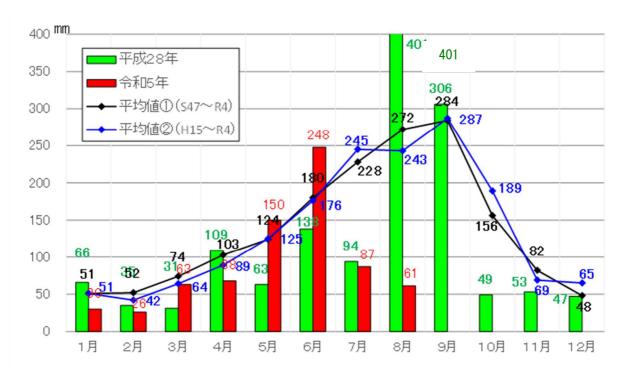


図-4 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1, 838
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1, 614
平成26年	13	121	94	77	100	437	223	355	109	271	72	85	1, 957
平成27年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1, 825
平成28年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1, 392
平成29年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1, 687
平成30年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1, 653
令和元年	23	12	71	71	149	245	251	266	132	590	64	25	1, 899
令和2年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1, 496
令和3年	34	56	125	101	99	186	255	364	169	91	111	116	1, 707
令和4年	56	53	61	115	207	145	296	162	239	77	62	48	1, 521
平均值① (S47~R4)	51	52	74	103	124	180	228	272	284	156	82	48	1, 654
平均值② (H15~R4)	51	42	64	89	125	176	245	243	287	189	69	65	1, 645
令和5年	30	26	63	68	150	248	87	61					733
平均値①に対 する割合(%)	59%	50%	85%	66%	121%	138%	38%	22%		·		·	44

表-3 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで)単位:mm

注)平均値①はデータが存在する期間 (51 ヶ年) を平均したもの 平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近 20 ヶ年を平均したもの

## 2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等(令和5年8月7日0時現在)

鬼怒川上流4ダムでは、7月より河川流量の著しい低減に伴いダムからの補給量が増加し、8月7日現在鬼怒川上流4ダムの合計貯水量は、1億231万㎡(貯水率68%)となっています。過去の渇水時における同月の貯水量と比較すると、鬼怒川において10%の取水制限が実施された平成25年及び同29年の貯水量と同程度となっています。 (図-5、表-4参照)

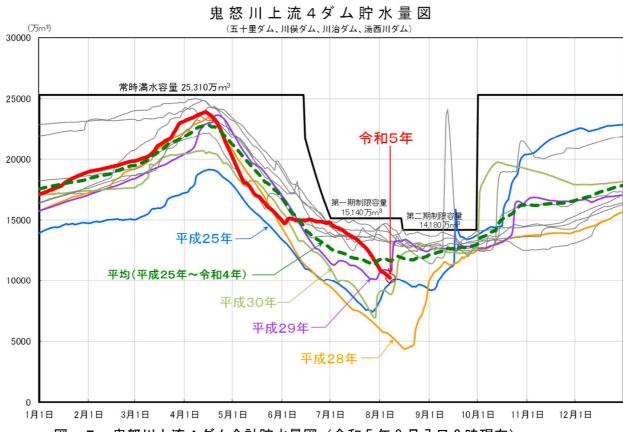


図-5 鬼怒川上流4ダム合計貯水量図(令和5年8月7日0時現在)

ダム名	有 効 容 量 (万㎡)	貯水量 (万㎡)	貯 水 率 (%)	前 日 補 給 量 (万㎡/日)
五十里ダム	<b>星ダム</b> 1,650 670			-4
川俣ダム	5, 290	3, 088	58%	+41
川治ダム	4, 000	3, 499	87%	+27
湯西川ダム	4, 200	2, 974	71%	+57
4 ダム合計	15, 140	10, 231	68%	+121
	†の平均値 ~令和 <b>4</b> 年)	11, 643	(平均値に対す	する割合88%)

表-4 鬼怒川上流4ダム ダム別貯水量(令和5年8月7日0時現在)

※有効容量は、夏期制限容量(洪水期の利水容量)であり、貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合 ※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留 している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)

## (3) 荒川水系

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況(令和5年8月7日0時までの降水量)

秋ヶ瀬(埼玉県志木市宗岡地先)地点上流域における7月の降水量は、平均値190mm(昭和40年~令和4年の58年間の平均)を大幅に下回る47mmでした。また、荒川における直近の 渇水(平成29年)の同月降水量218mmと比較しても非常に少ない状況となっています。 (図-6、表-5参照)

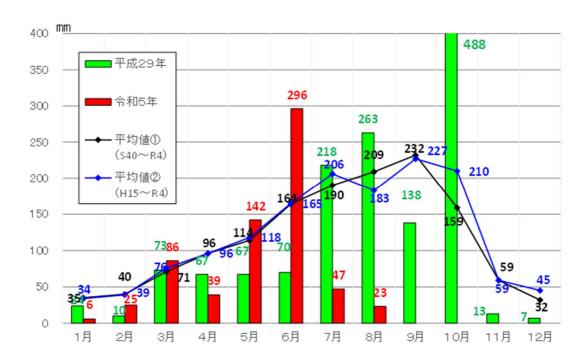


図-6 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1, 335
平成 2 5 年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1, 249
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1, 682
平成 2 7 年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1, 424
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1, 414
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1, 438
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1, 312
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1, 881
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1, 559
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1, 361
平均值① (S40~R4)	35	40	71	96	114	164	190	209	232	159	59	32	1, 401
平均值② (H15~R4)	34	39	76	96	118	165	206	183	227	210	59	45	1, 458
令和5年	6	25	86	39	142	296	47	23					664
平均値①に対 する割合(%)	17%	63%	121%	41%	125%	180%	25%	11%					47%

表-5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量(令和5年8月7日0時まで)単位:mm

注) 平均値①はデータが存在する期間(58ヶ年)を平均したもの 平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

## 2) 荒川4ダムの貯水状況等(令和5年8月7日0時現在)

荒川4ダムでは、7月下旬より河川流量の低減に伴いダムからの補給量が増加し、8月7日現在荒川4ダムの合計貯水量は、6,177万㎡(貯水率86%)となっており平均値を下回っている状況です。 (図-7、表-6参照)

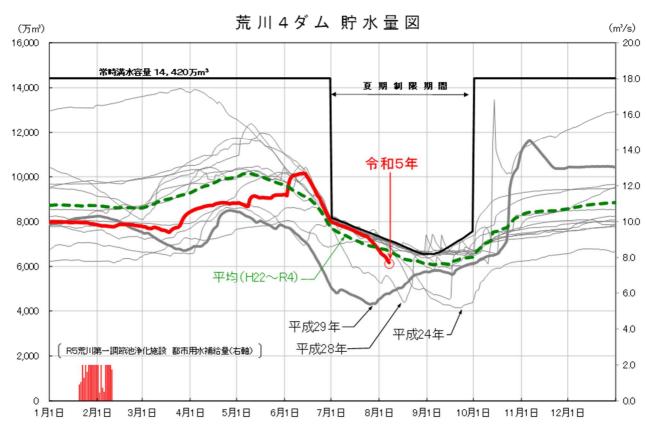


図-7 荒川4ダム合計貯水量図(令和5年8月7日0時現在)

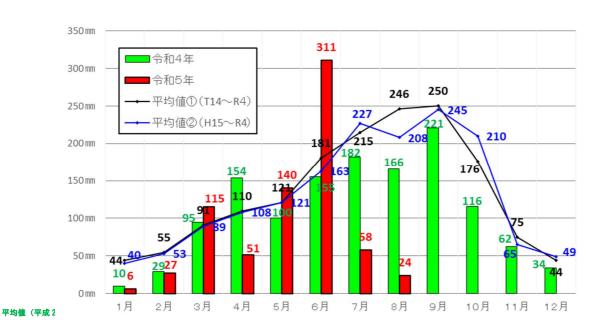
ダム名	有 効 容 量	貯 水 量	貯 水 率	前 日 補 給 量		
7 4 4	(万㎡)	(万㎡)	(%)	(万㎡/日)		
二瀬ダム	608	426	70%	+25		
滝沢ダム	2, 500	2, 258	90%	+29		
浦山ダム	3, 300	3, 197	97%	+27		
荒川貯水池	760	296	39%	+28		
4 ダム合計	7, 168	6, 177	86%	+109		
	†の平均値 ~令和 <b>4</b> 年)	6, 683	(平均値に対す	よる割合92%)		

表-6 荒川4ダム ダム別貯水量(令和5年8月7日0時現在)

※有効容量は、夏期制限容量(洪水期の利水容量)であり、貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合 ※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに 水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している 状況です。)

#### (4) 多摩川水系

1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況(令和5年8月4日0時までの降水量) 小河内ダム地点上流域における7月の降水量は、平均値215mm(大正14年~令和4年)を大幅に下回る58mmでした。8月の降水量は、4日0時までの累加で24mm(8月の月間降水量の平均値は208mm)となっています。 (図-8参照)



図ー8 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量(令和5年8月4日0時までの降水量)

#### 2) 小河内ダムの貯水状況

令和5年8月4日7時現在の貯水量は、1億4,862万㎡となっています。(図-9参照)

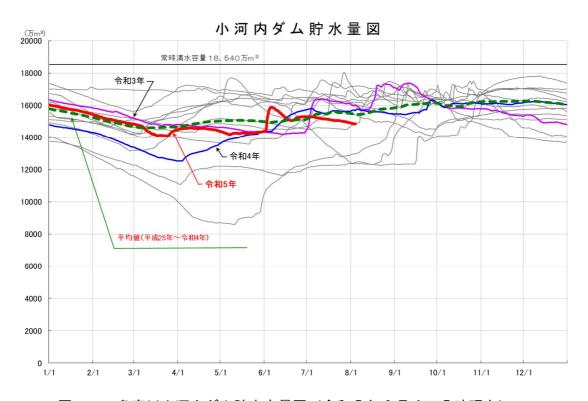


図-9 多摩川小河内ダム貯水容量図(令和5年8月4日7時現在)

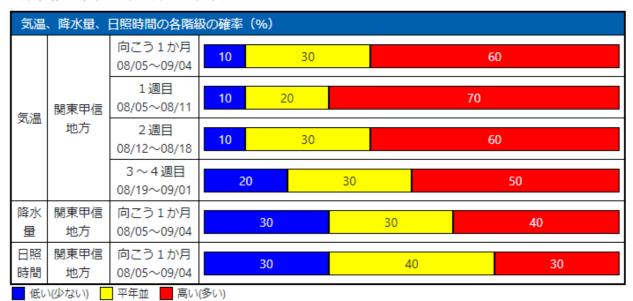
# 2. 今後の見通し

#### (1) 気象予報

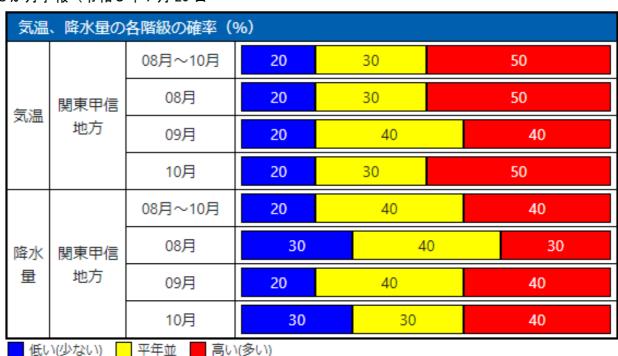
令和5年8月3日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(令和5年8月5日から令和5年9月4日までの見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が60%、降水量は「多い」の確率が40%となっています。

また、令和5年7月 25 日気象庁発表の3か月予報(令和5年8月から令和5年 10 月までの見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が50%、降水量は「多い」、「平年並」の確率がそれぞれ40%となっています。

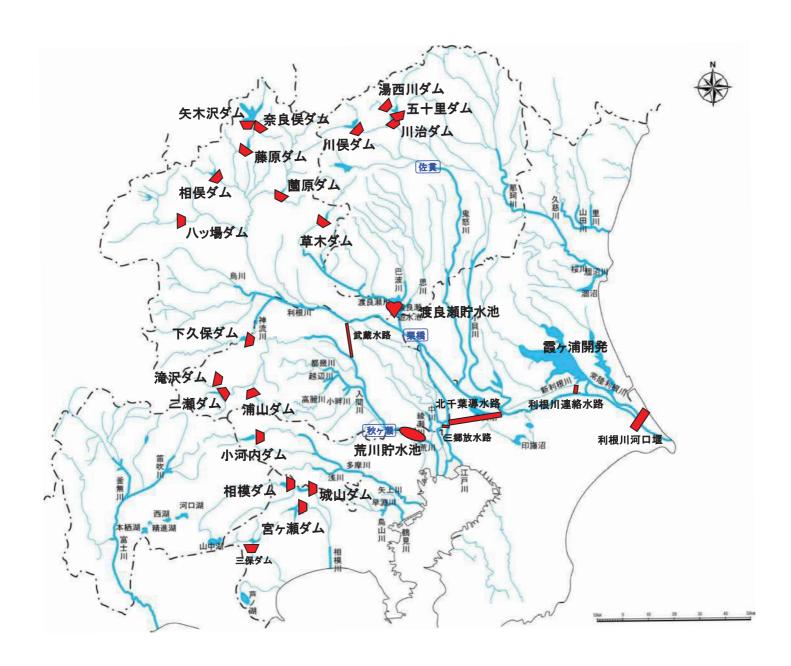
#### 1か月予報(令和5年8月3日発表)



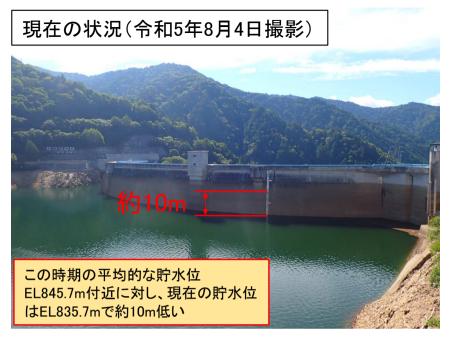
#### 3か月予報(令和5年7月25日



# 首都圏の主要な河川と水資源開発施設



# 貯水池の状況



矢木沢ダム



奈良俣ダム



藤原ダム

# 貯水池の状況



相俣ダム



薗原ダム

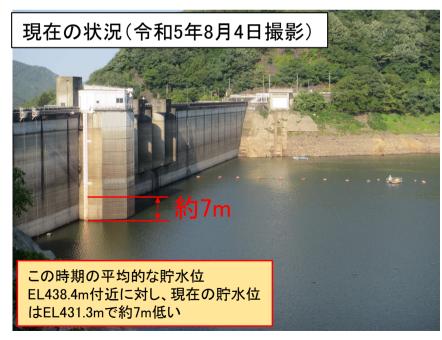


八ッ場ダム

# 貯水池の状況



下久保ダム



草木ダム



渡良瀬遊水池